

北海道手をつなぐ育成会 げっぽう

第745号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円会費を含む)
●発行日—令和2年2月1日
●発行所—札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7(4F)
〒060-0002 札幌市中央区
電話 011-251-0855
FAX 011-251-0804
Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp
●発行人—佐藤春光
印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

第2回 ピアカウンセリング研修会(報告)

「あくまでも本人が主役」

自分を助ける
環境をつくる

昨年、12月1日(日)全道各地から本人の会9団体、45名が「札幌かでの2・7」に集い、標記の研修会が開催されました。



冒頭、初参加となる「オホーツク地区本人の会(仮称)」「代表者(当事者2名、支援者4名)の皆さんから、自己紹介とご挨拶をいただきました。新しい仲間の参加に会場は大きな拍手に包まれました。

次に「さつぽろみんなの会」の原田千代子さんが『三色カード』の使い方を説明し、その後は連絡事項が続きしました。まず、本人の会全道交流会「ひろげようみんなのわい日高」では180名もの参加をいただいたことに現地実行委員会事務局長の大関さんより感謝が述べられました。

さらに、育成会全道大会名寄大会「本人大会」では「思い出観光」「チャレンジド」を含めると、321名もがそれぞれに有意義な二日間を過ごすことができました。本人大会の富士実行委員長さんからお礼のご挨拶がありました。さて、ピアカウンセリングとは、同

じ境遇や立場にある人がピア(仲間)となつて、時間や思いを分かち合い、聞き合うことで、それぞれの悩みや疑問を解決していく取り組みです。この度の研修会はそのリーダーを養成していくことを目的としています。

今回は一カ月に及ぶ海外(アメリカ)研修に挑戦したり、相談活動を中心に地域生活支援に活躍されている、脳性マヒという障がいのある「登り口倫子」

- 私はたくさんの方面で介助が必要。今まで自分の障がいの事で、社会で悔しい思いをたくさんしてきました。
- 今日は自分や、仲間の助け方を一緒に考えましょう。
- 自分で決めないと、誰かに決められてしまいます。
- 自分で決めることはとても大切なこと。
- 自分の伝えたいことを準備しよう。
- 自分で考え、友達や支援者と相談してみよう。
- やりやすい方法で。(書く、話す、読む、録音する)
- 誰かに応援してもらいましょ。(家族、友達、支援者)
- 「今は決められない」があってもいい。



さんに講師をお願いしました。

ご自分の体験を盛り込みながら、また、要点を絞って、分かりやすく整理された資料、フロアーからの発言もきちんと受け止め、とても丁寧にお話をいただきました。

あつという間に1時間が過ぎ、参加者からは、次のような感想が寄せられました。

- 話がとても分かりやすかった。(当事者)
- 自分の意見(発言)ができて良かった。(当事者)
- 中1の時にじめられた。成人式の時も同じことで友人にやられた。(当事者)
- 楽しかった。もっと話が聞きたかった。(当事者)
- アメリカのプログラムプランはとても参考になった。今後の支援計画に生かしたい。(支援者)
- 本人が自分の考えを持てるよう、きつかけづくりが大切に思う。(支援者)
- ご本人を理解し「本人主体」「自己決定」を念頭においた支援をしていきたいと感じた。(支援者)



「ピアカン研修会」は確かに当事者を対象とした研修会ですが、感想にあるように、実は支援者も多くのことを学んでいる事に気付かれます。次回開催は、6月の予定です。

第65回 全道大会北見大会

「本人大会」第1回実行委員会(報告)

「自分達の声、届けたい！」

「全道の仲間達が沢山いてうれしかった」

「みんなが意見を持っていて一生懸命」

「手をつないで」

「楽しみたい」

「生きている」

「認めてほしい」

「お母さん、お父さん、兄弟、笑って」

「オホーツクも仲良く会いたい」

これは、第2回ピアカ
ウンセリング研修会終了
後、引き続き同会場で開
催された「本人大会」第
1回実行委員会におい
て、委員長に選出された
「山田誠さん」から、
道育成会事務局に届け
られたメッセージ(見
出しも含めて)です。

山田さんは「オホー
ツク地区本人の会(仮
称)」の代表を務めて
おり、脳性マヒのため、
話をする場面ではヘル
パーや支援者の手助け
が必要ですが、全道大
会本人大会の成功をめ



ざし、頑張りたいと決意を
新たにしています。話し合
いの場面では、今後、同会
の「竹内裕汰さん」がサポ
ートをしていきます。

なお、副実行委員長には
「札幌みんなの会」会長の
三浦正春さん、「名寄陽だ
まり本人部会」会長の福士
忍さんが選出されました。

さて、実行委員会におけ
る話し合いでは北見大会が
1日日程になったことで、

従来に比べ、分科会の時間が半分となり、大
会決議の作成に向けた時間確保を含め、大き
な話題となりました。しかし、事前の準備は
もちろん、大会前日の打ち合わせ時間の活用
や、分科会の運営方法等で、可能な工夫をし
ていくことでまとまりました。

北見大会における分科会は名寄大会と同
様、「災害・情報(移動支援を含む)」「仕事」
「法律・差別」「何でも語ろう」の4つに。終
了後は「全体会」で交流することを原案に決
まりました。各本人の会の役割分担も互いに
確認し、今後、それぞれの会に持ち帰り、検
討、準備が進められます。

また、大会テーマ、スローガンについては
開催地となる「オホーツク地区本人の会(仮
称)」が中心となり、他の本人会より提案の
あった文言を参考にしながら原案を作成し、
改めて各会に提案。「開催要綱」に掲載でき
るよう努力することを確認し、終了しました。



道育成会第4回理事会(報告)

3課題の推進を中心に

- ①ブロック体制の整備、活動の充実
- ②育成会カレンダー2020の販売
- ③合理的配慮啓発隊の結成と活用

12月5日(木)、令和元年度
上期の活動報告を中心に標
記の会議が開催されました。
協議内容は次の通りです。

- ◎育成会活動の活性化
- ◎上期収支報告及び、監査
報告
- ◎全道大会北見大会の進捗
状況
- ◎「みんなのわin日高」終
了報告と「みんなのわin旭川」の進捗状況
- ◎サポート協会「親なきあとセミナー」の開
催実績とその活用
- ◎合理的配慮啓発隊、道内4チームの結成と
活動実績及び、その活用

特に3課題と位置付け、この間集中して取
り組んできた取り組みにつ
いては、各地区育成会の活
動に徐々に浸透し、それぞ
れに改善や進展が伺え、今
後も引き続き、精力的に取
り組みを進めていくことが
確認されました。



「なよろ陽だまりの会」法人格取得5年目 夢が実現！『地元で働く』

名寄心と手をつなぐ育成会

事務局長 長谷川まゆみ

昨年の全道大会名寄大会では道内の会員、支援者、当事者の皆様方に大変お世話になりました。改めて感謝を申し上げます。ありがとうございます。

さて、名寄心と手をつなぐ育成会の会員は全道各地にいらつしやいます。全道大会を終えて間もなく、美深町の会員の方から「美深の中心街に空き店舗があり、町で入店者を募集している」という情報が寄せられました。

応募したところ、決定。事業所「陽だまり」の支店を出すことになりました。ここは美深町の中心街であり、店舗はバスの待合所ともなっており、比較的集客数の多いところ。現在、就労継続B型。

(支援員3名・利用者10名) 美深町のJAの野菜や町農家さんの野菜の販売、手づくり作品、そして、軽食喫茶を運営しています。

美深町の商工会の一番大きな祭り「夜市祭り」は、当店「びふか陽だまり」が中心となるようです。



2020年 第7回スペシャルオリンピックス日本 冬季ナショナルゲーム・北海道



この機会、会場にてご声援を！

2月21日から23日までの3日間、スペシャルオリンピックス日本の冬季全国大会が北海道で初めて開催されます。

スペシャルオリンピックスとは知的障がいのある人たちに年間を通じて、様々なスポーツトレーニングの機会とその発表の場である競技会を提供し、社会参加を応援する国際的スポーツ組織です。

本大会は、来年開催予定のスペシャルオリンピックス冬季世界大会への日本選手団の選考を兼ねており、全国各地からアスリートが集結し、競技に参加します。

道内三都市（札幌、江別、岩見沢）において7競技が行われますので、ぜひ会場にお越しいただき、熱い応援をお待ちしています。

日程：2月21日(金)：開会式
22日(土)：競技（予選／ディビジョニング）
23日(日)：競技（決勝／表彰／閉会式）

実施競技【会場】：

- ・開会式／閉会式
【北ガスアリーナ札幌46（札幌市中央区北4東6）】
- ・アルペンスキー／スノーボード
【Fu's スノーエリア（札幌市南区藤野473）】
- ・フィギュアスケート／ショートトラックスピードスケート
【真駒内セキスイハイムアイスアリーナ（札幌市南区真駒内公園1）】
- ・クロスカントリースキー／スノーシューイング
【飛鳥山公園（江別市緑町西2丁目）】
- ・フロアホッケー
【道教育大岩見沢校（岩見沢市緑が丘2丁目）】

大会事務局 電話011-231-8055

<https://sonippon.wixsite.com/son-national-game>

町民の期待もあり、大変温かく迎えていただきました。無口なAさんは「美深の自宅から通所するのが夢」「びふか陽だまりにいきいたい！」と自分の考えを訴え、今「びふか陽だまり」で生き生きと働いています。



利用者・支援者共々、一日も早く「おらが町」の店と呼ばれるよう張り切っています。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

今後の予定

2月8日(土) 全道大会北見大会
3月10日(火) 第2回 実行委員会
3月26日(木) 第3回 ブロック事務局長会議
第5回 理事会

AIG損保生活サポート総合補償制度のご案内

安心を
お届けします

2007年4月に日本で誕生した知的障害児者と自閉症児者専用の保険です。

AIG損保の普通傷害保険(2018年1月現在の内容です。) (知的障害者等福祉団体傷害保険特約セット)

病気やケガまたはその検査のため入院したとき

入院給付金(付添介護保険金、差額ベッド費用、入院諸費用、入院一時金)

他人にケガをさせたり、他人のものを壊して法律上の賠償責任を負ったとき

個人賠償責任保険金: 1億円または3億円(1事故あたり支払い限度額)

ケガをしたとき

死亡・後遺障害・入院・通院・手術保険金

地震・噴火・津波危険補償特約セット

病気で死亡したとき

葬祭費用保険金

取扱代理店) 株式会社ジェアイシー北海道支店
〒060-0051 札幌市中央区南1条東2丁目
8-2 SRビル4F <http://www.jicgroup.co.jp>
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704
受付時間: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

引受保険会社) AIG損害保険株式会社札幌営業支店
〒060-0003 札幌市中央区北3条西4丁目
1-1 日本生命札幌ビル17階
TEL: 011-204-7510 <http://www.aig.co.jp/sonpo>
受付時間: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

北海道知的障害児者生活サポート協会
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目
かでの2・7 4階 北海道手をつなぐ育成会内
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804
(A-000811 2019-12)

このご案内は保険の概要をご説明したものです。詳細は取扱代理店にお問い合わせいただくか、専用のパンフレットをご参照ください。

知的障がい・発達障がい
ダウン症・てんかんの
ある方のための保険

ぜんちの
あんしん保険
東京海上日動の
個人賠償責任補償付
少額短期健康総合保険(無告知型) 2016年創設

ぜんちの
こども傷害保険
東京海上日動の
個人賠償責任補償付
権利保護補償傷害保険(2016年創設)

特別支援教育を
必要とされている方
のための保険

病気やケガでの
入院



最高日額1万円

虐待・差別・逮捕に
対応



弁護士費用補償

誤って物を壊してしまう...



個人賠償
責任補償
最高5億円

※(総合生活保険(個人賠償責任補償))
引受保険会社: 東京海上日動火災保険株式会社

日常生活でケガを
することが多い...



入院・通院を日額保障

トラブルに巻き込まれた際、
誰も助けてくれない...



弁護士がサポート

当事者同士での
解決が難しい...



示談交渉サービス付き

ネット申込・年払・月払OK | クレジットカード払OK ※ネット申込みのみ

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」を
よくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

詳しい資料のご請求・お問合せは下記までお気軽にどうぞ

<代理店>

有限会社オフィスブレイン

〒060-0032

札幌市中央区北2条東3丁目2番

札幌セントラルビル3F

TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523



ぜんち共済株式会社

ZENCHI 関東財務局長(少額短期保険)第14号

〒101-0032 東京都千代田区岩本町三丁目5番8号岩本町シティプラザビル5F

コールセンター 0120-322-150

ぜんち共済 0120-322-150 <http://www.z-kyosai.com/>



[2017年12月作成 17-T08668]

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。

私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。

体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。

あなたの事業所の入会を待っています。

北海道手をつなぐ育成会 通所事業所連絡協議会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7(4F)

電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804

E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

特定非営利活動法人 白糠町手をつなぐ育成会

太陽の家

〒088-0331 白糠町東1条北1丁目1-12

電話・FAX 01547-2-4136

E-mail: shiranuka-taiyo@amber.plala.or.jp

★就労継続支援B型

☆定員...10名

★主な作業

☆お菓子作り

☆ウエス作り

☆下請作業

